

事業番号	09 02 01	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	信州農産物マーケティング対策推進事業			担当課	部局	農政部	
総合5か年計画	プロジェクト				課・局・室	農業政策課農産物マーケティング室	
	施策の総合的展開	1-03 夢に挑戦する農業 3 信州ブランドの確立とマーケットの創出			E-mail	marketing@pref.nagano.lg.jp	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出		実施期間	H22 ~		
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> これまでの生産振興対策に加えて、県内外の消費市場をターゲットとした本県独自の農産物マーケティング戦略の展開により、販路拡大を図る。 新たなマーケットとして有望な加工業務用食品、介護食品、ネット通販等に対応した、新たな産地づくりと取引の拡大を図る。 															
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> 大消費地である首都圏において、農産物の販路開拓を担当する専任職員を配置している。 飲食費の最終消費額は、生鮮品が減少の一方で加工品・外食の比率が増加しており、実需者との直接的な取引が重要なことから、この分野への販路拡大を進めていく必要がある。 															
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 第2期長野県食と農業農村振興計画(長野県食と農業農村振興の県民条例) H28年度において、加工・業務用農産物の生産者の参画による販路拡大を実施														
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)															
	成長分野である加工・業務用向け事業者と県内生産者とのマッチングにより、新たな販路を15件以上開拓する。															
	② 事業内容 (単位:千円)															
		項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)								
	農林水産祭負担金	負担金	農林水産祭への参加負担金(負担先:(公財)日本農林漁業振興会)	330	330	330										
	首都圏農産物販路拡大業務対策費	県	首都圏総合活動拠点に駐在する農産物マーケティング担当職員の活動費	200	200	200										
	加工・業務用向け農産物販路拡大事業	委託	加工・業務用農産物の販路拡大を図るため、野菜とフルーツに特化した商談会をそれぞれ1回開催	8,409	8,409	5,462										
	農産物加工品商品力向上支援事業	県	中山間地域における農産物加工品の商品力向上を支援するため、研修会(5回)及び事例発表会(1回)を開催	917	556	0										
			合計	9,856	9,495	5,992										
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況										
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標				
		当初予算	12,939	9,856	5,992				目標	成果	達成状況					
		補正予算							実需者との新たな販路開拓件数	12件	24件		15件	21件	達成	15件
		合計(A)	12,939	9,856	5,992											
	Aの財源	一般財源	530	8,939	5,075											
		県債														
		国庫支出金														
		その他	12,409	917	917											
	ト	決算額(B)	12,929	9,495												
概算人件費	職員数(人)	1.0	1.0	1.0												
	概算人件費(C)	8,276	7,914	7,914												
	概算事業費(B(A)+C)	21,205	17,409	13,906												
目標に対する成果の状況	事前に実需者のニーズを把握し、このニーズに合った生産者と商談を設定することで、新たに21件の販路開拓を行うことができた。															

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input checked="" type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	農業者の商品力や営業力が不十分であることから、意欲的な農業者に対し個別課題について解決に向け、効果的な支援を行うことにより、個々のスキルアップを図る。